第5期産業振興計画＜観光分野＞のPDCAシート

参考資料1

※本部会議資:※本部会議資料では非表示　　※本部会議資:※本部会議資料

元気な未来創造戦略			産業振興計画				中山間ビジョン		①KPI												⑥改善・見直し(A)	担当	担当
全体通し番号	元気通し番号	政策条件整備	基本的方向	産振通し番号	分野	取り組みの柱	戦略の類型	中山間通し番号	項目	KPI(指標)	基準値(出発点)	到達目標(R7)	実績値(R7)	評価(R7)	到達目標(R8)	現状値(R8)※R8.9時点	評価※達成見込(R8)	目標(R9)	該当計画	会議資料	②主な事業(取組)	③当初計画(P)	④取組状況(D)	⑤現状分析◆要因・課題◇(C)	強化の方向性(●今年度下半期、○次年度)	部局	課
127				1	観光	分野全体の目標	―			【観光】県外観光客入込数	426.6万人泊(R4)	552.9万人泊	509.3万人泊	B	552.6万人泊	―(R9.6把握予定)	―	563.9万人泊	産振	産振						観光振興スポーツ部	観光政策課
128				2	観光	分野全体の目標	―			【観光】観光総消費額	966億円(R4)	1,338億円	1,381億円	A	1,463億円	―(R9.4把握予定)	―	1,527億円	産振	産振						観光振興スポーツ部	観光政策課
129				3	観光	1 長期滞在につながる観光地域づくりの推進	2 地域産業スケールアップ型			【観光】中核となる観光施設(14施設)の入込数(年間)	209.1万人(R4)	248.1万人(R7)	261.2万人(R7)	A	261.0万人(R8)	145.2万人(R8.7月)	B	273.9万人(R9)	産振	産振	地域内での周遊・滞在の促進	目標:補助事業(観光振興推進総合支援事業費補助金)による支援16件(要望時点) 【R7実績:17件】 ・交付申請の受付(通年) ・各市町村の課題解決に向けた事業ヒアリング(通年)	・補助金交付決定件数(R8.9月末時点):7件 ・交付申請受付(通年) ・各市町村個別ヒアの実施(通年) ・フォローアップ調査の実施(4月)	【KPIの達成見込み】 R8.1～7月の実績でKPIの約55.6%を達成。この状況のまま推移すればKPIの95%程になる見込 ◆市町村からの要望の取り消しや追加があったため、現時点では、15件の支援となる見込み。 ◇市町村が事業化できなかったため。	●市町村へ来年度事業のヒアリングを行い、ニーズに応じた事業強化を図る。 ○フォローアップ調査を通じて事業の成果を把握し、課題に応じた支援を行う。また、大河ドラマ「ジョン万」の放送に向けて、さらなる施設の磨き上げやコンテンツの強化を図る。	観光振興スポーツ部	地域観光課
130				4	観光	1 長期滞在につながる観光地域づくりの推進	2 地域産業スケールアップ型			【観光】1旅行当たりの県内平均立寄数(年間)	2.5件(R4)	2.8件(R7)	2.6件(R7)	-	3.0件(R8)	―把握予定:R9.10月	―	3.2件(R9)	産振	産振	地域内での周遊・滞在の促進	目標:補助事業(周遊促進・滞在延長支援事業費補助金)による支援17件(要望時点) 【R7実績:19件】 ・交付申請の受付(通年) ・各市町村の周遊促進に向けた事業ヒアリング(通年)	・補助金交付決定件数(R8.9月末時点):14件 ・交付申請受付(通年) ・各市町村個別ヒアの実施(通年)	【KPIの達成見込み】 R9.10に把握予定 ◆市町村からの要望の取り消しや追加があったため、現時点では、19件の支援となる見込み。 ◇新規イベントの要望や大河ドラマ「ジョン万」放送の決定により、周遊企画を追加で行う市町村があったため。	●市町村へ来年度事業のヒアリングを行い、ニーズに応じた事業強化を図る。 ○大河ドラマ「ジョン万」の放送に向けて、さらなる周遊促進に取り組む。	観光振興スポーツ部	地域観光課
131				5	観光	2 戦略的セールス&プロモーション	2 地域産業スケールアップ型			【観光】県外観光客入込数(年間)	370万人(R4)	470万人	457万人	B	465万人	―(R9.2把握予定)	―	470万人(R9)	産振	産振	旅行会社向けのセールス活動	目標:観光説明会の開催6回【R7実績6回】 上期:東京、広島、福岡 下期:東京、大阪、名古屋	・旅行会社向けの観光説明会を半期毎に開催。上期は東京(4/21)、広島(5/18)、福岡(6/24)で開催した。 ・旅行会社からのべ計44社199名(東京:19社103名、広島:13社43名、福岡:12社53名)が参加	【KPIの達成見込み】 R9.2に把握予定 ◆様々な旅行ツアーを企画する担当者が参加しているため、よりきめ細やかな情報提供ができる余地がある。 ◇旅行会社のツアー商品造成に際してより有用な情報が提供できるよう、コンベンション協会と連携してプレゼン資料の改善を継続していくことが必要	●下半期は、東京(9/10)、大阪(9/2)、名古屋(10/29)で開催予定。大河ドラマ「ジョン万」に向けた県の取り組みの方向性や最新の施設整備状況、体験プログラムなど、旅行会社が求める情報について広く周知を行う。 ○大河ドラマ「ジョン万」の放送開始に向けた受入環境の整備状況や特別感のあるイベント情報などについて周知を行う。	観光振興スポーツ部	観光政策課
132				6	観光	2 戦略的セールス&プロモーション	2 地域産業スケールアップ型			【観光】スポーツによる県外からの入込客数(年間)	53,161人(R4)	90,000人	99,271人	S	105,000人	45,610人	A	12万人(R9)	産振	産振	(4)スポーツを通じた誘客の促進 ①新県民体育館の整備を見据えた取組 ②プロ・アマチュアスポーツの大会・合宿等の誘致 ③地元プロスポーツチームとの誘客促進に向けた連携	(4)目標:105,000人【R7実績99,271人】※暦年 ① 若年層の誘客促進につながる屋内競技のプロスポーツ大会等の誘致を推進 ② 県内プロスポーツの支援やプロ・アマスポーツ合宿の受入等の拡大に向けた環境整備を推進 ③ ホーム戦観戦に係る新規顧客獲得に向け、来場のきっかけとなる取組を強化	(4)現状値:45,610人(R8.9月末時点)※暦年 ① ・Bﾘｰｸﾞｴｷｼﾋﾞｼｮﾝｹﾞｰﾑ(9/5) バスケ教室(9/4, 93名) ・SVﾘｰｸﾞﾌﾟﾚｼｰｽﾞﾝﾏｯﾁ(9/23) バレー教室(9/23, 93名) ② 〈プロスポーツ〉 ・春季キャンプ(野球・サッカー共に3チーム) ・プロ野球オープン戦(3/7,8) 〈アマスポーツ〉 ・高知県スポーツ合宿ワンストップ窓口対応件数8件:292名 2,314人泊 ※8末時点 ・「くるっと高知サイクリングスタンプラリー」の実施(1/23～3/20, 185人) ・高知龍馬マラソン2026の開催(2/15 フルエントリー:11,327人) ③ ・阪神タイガース、高知ファイティングドッグス交流イベント(4/23) ・高知USC高知県冠試合(5/17)	【KPI達成見込み】 県外からの入込客数は、前年同月比の98%で推移。 ① ◆B2,009名、SV2,006名の集客 ② ◆プロ大会・キャンプ(県内プロB・SV除く) 11,848人、アマ合宿 4,534人、アマ大会等 21,311人。 ◇全体で増加しているが、プロサッカーキャンプの来高数減少(▲2チーム)により観客数減。また、施設整備が不十分で、希望団体全ての受入れが困難。 サイクリングは、動向調査等により、県内のサイクルツーリズム推進に向けた取組強化が必要。 ③ ◆県内プロスポーツ 6,820人(R7同期間比-4,244人) ◇R7年はルヴァンカップにより入込数が大きく単純比較はできないが、ホーム戦の新規観戦者獲得に向けた取組強化が必要。	① ●○新体育館の活用を見据え、屋内プロスポーツチームの大会等の誘致を継続。 ② ●春野(球技場)へ新規養生シートを導入し、キャンプ受入れキャパの増加を目指す。 ●スタンプラリーや動向調査を実施し、サイクルツーリズム推進に向けた新たな取組を検討する。 ○ｻｲｸﾙﾂｰﾘｽﾞﾑ四国推進協議会10周年記念ｲﾍﾞﾝﾄ実施を検討。 龍馬マラソンを持続可能な形で実施するため、必要な予算確保に取り組み、受入定員増を目指す。 ③ ●地元ﾌﾟﾛｽﾎﾟｰﾂﾁｰﾑや県内大型ｽﾎﾟｰﾂｲﾍﾞﾝﾄの連携による相互送客の促進。 ○高知USCの財政・運営面の安定化支援を継続。	観光振興スポーツ部	スポーツツーリズム課

第5期産業振興計画＜観光分野＞のPDCAシート

参考資料1

※本部会議資:※本部会議資料では非表示　　※本部会議資:※本部会議資料

全体通し番号	元気な未来創造戦略 元気通し番号	政策条件整備	基本的方向	産業振興計画 産振通し番号	分野	取り組みの柱	戦略の類型	中山間ビジョン 中山間通し番号	項目	①KPI KPI(指標)	基準値（出発点）	到達目標（R7）	実績値（R7）	評価（R7）	到達目標（R8）	現状値（R8）※R8.9時点	評価※達成見込（R8）	目標（R9）	該当計画	会議資料	②主な事業（取組）	③当初計画(P)	④取組状況(D)	⑤現状分析◆要因・課題◇(C)	⑥改善・見直し(A) 強化の方向性（●今年度下半期、○次年度）	担当 部局	担当 課
133				7	観光	3 おもてなしの推進	2 地域産業スケールアップ型			【観光】観光満足度調査における「大変良い」「良い」の割合の増加（年間）【観光施設】）	86%（R4）	87.7%	89.5%	A	87.9%	—（R9.10把握予定）	—	88%（R9）	産振	産振	①バリアフリー観光相談窓口の設置	①目標 ・バリアフリー観光相談窓口の相談件数180件【R7実績185件】 ・特設Webサイトでの情報発信120千PV【R7実績109千PV】	① ・バリアフリー観光相談窓口の相談件数142件（R8.9末時点） ・特設Webサイトでの情報発信58千PV（R8.9末時点）	【KPIの達成見込み】 R9.10に把握予定 ① ◆バリアフリー観光相談窓口については、6ヵ月間での達成度が79%であり、目標を達成する見込み。 ◆特設Webサイトについては、6ヵ月間の達成度が48%であり、現状の増加推移では目標未達となる。 ◇当初計画時に、よさこい高知文化祭と連動したPV数の増加を見込んでいたことが要因。	① ●バリアフリー観光相談窓口については、引き続き丁寧な対応とスキルアップに努め、リピーター化を図る。 ○窓口の県外への広報を強化する。 ●特設Webサイトはよさこい高知文化祭と連動した広報を強化（文化祭HPやトイレマップ等への掲載）する。 ○季節に合わせて、バリアフリーな観光施設を紹介するページを作成し、SNSで発信する。	観光振興スポーツ部	観光政策課
134				8	観光	3 おもてなしの推進	2 地域産業スケールアップ型			【観光】観光満足度調査における「大変良い」「良い」の割合の増加（年間）【宿泊施設】）	80%（R4）	83.0%	82.1%	B	84.0%	—（R9.10把握予定）	—	85%（R9）	産振	産振	②県民運動の強化 ③観光関連施設の「Wi-Fi、トイレ、キャッシュレス、多言語対応」の受入環境整備を推進	②目標: ・おもてなし県民表彰の実施（9月～）【R7実績 表彰数3団体】 ・おもてなし一斉清掃等の実施（9月～）【R7実績 30市町村2,604人） ③目標：補助事業（観光振興推進総合支援事業費補助金）による支援16件【R7実績：17件】 ・交付申請の受付（通年） ・各市町村の課題解決に向けた事業ヒアリング（通年）	② ・おもてなし県民表彰は未実施 ・おもてなし一斉清掃は各市町村で実施。高知市中心部は10/20実施に向けて参加者の募集中。 ③ ・補助金交付決定件数（R8.9月末時点）：7件 ・交付申請受付（通年） ・各市町村個別ヒアの実施（通年） ・フォローアップ調査の実施（4月）	② ◆実施後検討 ◇実施後検討 ③ ◆要望の取り消しや追加があったため、現時点では、15件の支援となる見込み。 ◇市町村が事業化できなかったため。	② ●文化祭関連イベントにて、おもてなしの取組の周知を図る。 ○県内全域でおもてなし活動に取り組んでもらうキャンペーンを展開する。 ③ ●市町村へ来年度事業のヒアリングを行い、各市町村のニーズに応じた事業強化を図る。 ○フォローアップ調査を通じて事業の成果を把握し、課題に応じた支援を行う。また、大河ドラマ「ジョン万」の放送に向けて、引き続き受入環境整備に取り組む。	観光振興スポーツ部	観光政策課
135				9	観光	4 国際観光の推進	3 グローバル展開型			【観光】観光庁「宿泊旅行統計調査」外国人延べ宿泊者（年間）	9,890人泊（R4）	14万人泊	14万人泊	A	15.5万人	—（R9.6把握予定）	—	17万人泊（R9）	産振	産振	②韓国航路の誘致に向けた取組	①目標：台湾定期チャーター便の搭乗率：80%以上の維持 ＜旅行・航空会社へのセールス＞ ・現地営業レップ（通年） ・現地商談会（7月、2月） ・副知事トップセールス（7月） ＜プロモーション＞ ・旅行会社連携事業（通年） ⇒SNS、広告、旅行博等 ・航空会社連携事業（通年） ⇒広告、イベント等 ・情報発信事業（7月～） ⇒SNS、インフルエンサー等 ・他県連携（岡山県） ⇒モデルルート、広告 ②　韓国航路誘致 ＜セールス＞ ・航空・旅行会社（通年） ・現地商談会（9/14） ＜チャーター便＞ ・R9.3実施（2way） ＜プロモーション＞ ・モニターツアー（5回） ・旅行博等出展（5回） ・FAM、マスコミ連携（3回） ・JNTO、クレア事業（2回） ・SNS情報発信（通年）　等	①　台湾定期チャーター便の搭乗率：93%（7月末時点） ＜セールス＞ ・レップ（38社※8月末時点） ・商談会（7/14：県内10社、台湾108社、2月合同商談会） ・トップセールス（7/14、8/31） ＜プロモーション＞ ・就航3周年記念メディア発表会（7/14：29社、掲載数20件） ・旅行博出展(3回)(4,5,11月予定) ・龍馬と土佐酒イベント（7/30：参加者98名） ・岡山連携（11月発信予定） ②　韓国航路誘致 ＜セールス＞ ・航空・旅行会社（17社※8月末時点） ・商談会(県内25社、韓国30社) ＜チャーター便＞ ・R9.3実施（3/20予定 2way） ＜プロモーション＞ ・モニターツアー（7.10月 他） ・旅行博等出展（5,7,10,11月） ・JNTO連携ファム（6月） ・クレア連携インフルエンサー（8月） ・ゴルフファム・セミナー（8月） ・インフルエンサー10人（10月） ・SNS情報発信（通年）　等	【KPIの達成見込み】 ・R8.1～5月実績は前年比135% ・この状況のまま推移すれば、R9年は19万人泊の見込 ①　台湾定期チャーター便 ◆ R8年の搭乗率は93%と目標を上回る。 ・要因は、旅行会社との連携事業の成果が上げられる。 ・課題は、増加するFIT（個人旅行者）の確保に向けたプロモーションの強化。 ②　韓国航路誘致 ◆　チャーター便から実施し、実績を積み上げながら航路誘致を継続 ・航路誘致は、イラン情勢の影響を受ける ◆　R8.1-5の韓国からの延べ宿泊者数は前年比230%と国別では最大の伸び率。 ・要因としては、各プロモーションの効果もあり、旅行会社や個人客の間で本県の知名度が少しづつ浸透	① ●現地旅行会社や航空会社と連携したプロモーションの実施 ●他県と連携した個人旅行者向けの広域モデルルートの造成・発信 ○定期便化を見据えFIT向けのプロモーションを強化 ② ●航路誘致に向け、航空・旅行会社との交渉継続。 ●チャーター便の実施に向け　旅行会社との連携強化 ●韓国での本県の知名度や誘客アップに向け、プロモーションを実施 ○航路誘致に向けた交渉継続、チャーター実施 ○知名度・誘客アップに向けたプロモーションの大幅な強化	観光振興スポーツ部	国際観光課
136				10	観光	4 国際観光の推進	3 グローバル展開型			【観光】外国人県内消費額（年間）	3億円（R4）	49億円	37億円	C	52億円	—（R9.8把握予定）	—	57億円（R9）	産振	産振	①多言語・キャッシュレス化の促進による消費拡大に向けた取組 ②地域通訳案内士の育成	①目標：受入環境整備対応事業者数：30社以上（R7以降累計70社） ・個別支援（通年） ・セミナー（実地9月,オンライン10月） ②目標：登録者数20名 ・育成研修（10～2月） ・フォローアップ研修（2回） ・旅行会社とのマッチング（1回）	①受入環境整備対応事業者数：33社（R7以降累計56社　※8月末時点） ・個別支援（41件33社※8月末時点） ・実地セミナー：9/11 ・オンラインセミナー：9/25 ・アーカイブ（9/25～） ②登録者数20名 ・研修（10/17～1/24） ・口述試験（1/31予定） ・フォローアップ（10月、2月） ・旅行会社とのマッチング（2月）	【KPIの達成見込み】 各事業の実施により県内の受入環境整備を促進し、外国人県内消費額の目標達成を見込む。 ① ◆実施後検討 ◇実施後検討 ② ◆実施後検討 ◇実施後検討	① ●実施後検討 ○観光関連事業者のインバウンド受入環境整備を促進するセミナー及び個別支援を実施するとともに、商品やメニューの磨き上げの支援を行う ② ●実施後検討 ○地域通訳案内士の資格取得者が、実践の場へ踏み出すための支援を行う	観光振興スポーツ部	国際観光課

参考資料1

第5期産業振興計画＜観光分野＞のPDCAシート

※本部会議資:※本部会議資料では非表示

※本部会議資:※本部会議資料

元気な未来創造戦略			産業振興計画				中山間ビジョン		①KPI										⑥改善・見直し(A)	担当	担当
全体通し番号	元気通し番号	政策条件整備	基本的方向	産振通し番号	分野	取り組みの柱	戦略の類型	中山間通し番号	項目	KPI(指標)	基準値(出発点)	到達目標(R7)	実績値(R7)	評価(R7)	到達目標(R8)	現状値(R8)※R8.9時点	評価※達成見込(R8)	目標(R9)	該当計画	会議資料	②主な事業(取組)	③当初計画(P)	④取組状況(D)	⑤現状分析◆要因・課題◇(C)	強化の方向性(●今年度下半期、○次年度)	部局	課
137				11	観光	5 観光人材の確保・担い手	5 人材拠点型			【観光】県内全産業平均と比較した宿泊業の所定内給与額の水準(年間)	84.8%(R4)	87.8%	84.2%	B	88.8%	—(R9.6把握予定)	—	90%(R9)	産振	産振	①宿泊施設における食キャンペーン ②平日宿泊促進キャンペーンの実施	①目標:参画宿泊施設20施設 ・テーマ食材選定会議(4月) ・旅館組合総会等で周知(5月) ・キャンペーン開始(12月) ② 目標:参画施設100施設 ・事業内容の検討(4月) ・参画募集(6～8月) ・キャンペーン開始(10月)	①参画宿泊施設 28施設 ・テーマ食材選定会議(4/8) ・旅館組合総会等で周知(4/24、5/13、5/27) ・特設サイト公開(9/18) ・キャンペーン開始(10/23) ②参画施設 95施設 ・事業内容の検討(5月) ・参画募集(7～8月) ・特設サイト公開(10/16予定) ・キャンペーン開始(10/26)	【KPIの達成見込み】 R9.6把握予定 ① ◆参画宿泊施設は23施設となり、現時点で目標を達成。 ◇旅館組合や委託業者と連携しながら事業を進め目標に到達。新規キャンペーンのため特に県外への周知の強化が必要。 ② ◆昨年度に比べ宿泊施設の参画が少なく、目標の達成に至っていない。 ◇昨年度の参画施設への声かけなど参画施設の増に向けた取組が必要。	① ●特設サイトなどを活用し、キャンペーンの周知を図る。来年度のキャンペーンに向けた検討を進める。 ○今年度のキャンペーンを踏まえ、来年度の関散期に2度キャンペーンを実施予定。 ② ●旅館ホテルが実施している平日の宿泊プラン等をとりまとめ、一体となって情報発信を行い、キャンペーンの盛り上がりを醸成する。 ○キャンペーンは廃止し、ジョン万博の盛り上がりに向けた検討を進める。	観光振興スポーツ部	観光政策課
148				1	関西	観光推進プロジェクト	ー			【関西(観光)】関西圏からの観光客入込数(暦年)	103万人(R4)	129万人	123万人	B	130万人	—(R9.10把握予定)	—	131万人	産振	産振	とさとさや百貨店、大手書店等とタイアップしたPR	目標:PRイベント6回 ・とさとさでのPRイベント(5月、12月、3月) ・阪神百貨店の高知フェア(6月) ・蔦屋書店の高知フェア(9月) ・近鉄百貨店の高知フェア(10月)	・とさとさでのPRイベント(5/16-17) ・阪神百貨店の高知フェア(6/17-22) ・梅田蔦屋書店の高知フェア(9/1-17)	【KPIの達成見込み】 R9.10に把握予定 ◆予定どおり百貨店等でのPRイベントを開催した。 ◇高知県フェアを通じて、高知県の認知向上だけでなく、実際の観光誘客に向けたPR強化が必要。	●近鉄百貨店における高知フェア(10/29-11/3)を開催予定。グループ会社である近畿日本ツーリストと連携して、具体的な旅行商品を紹介するなど、誘客に向けたPRを行う。 ○大阪事務所と連携して、百貨店や大型商業施設などで高知フェアを開催できる場所の掘り起こしを行っていく。	観光振興スポーツ部	観光政策課
149				2	関西	観光推進プロジェクト	ー			【関西(観光)】関西空港経由の外国人延べ宿泊者数(暦年)	0.3万人泊(R4)	4.2万人泊	4.2万人泊	A	4.5万人泊	—(R9.6把握予定)	—	4.7万人泊	産振	産振	大阪観光局等との連携によるインバウンド誘客に向けたプロモーション	目標:大阪観光局等と連携した情報発信及び商談会等への参加(3回以上) ＜大阪観光局との連携＞ ・大阪観光局HP内サイトを活用した情報発信(通年) ・大阪観光局のネットワークをいかした海外商談会、展示会等におけるセールス(10～12月) ＜関西圏を訪れる外国人観光客に向けたプロモーション＞ ・関西圏を訪れる外国人観光客に向けたプロモーション事業(委託)の実施 ・関西エアポートと連携した取組の実施(7月～)	大阪観光局等と連携した情報発信及び商談会への参加(:0回 ※7月末時点) ＜大阪観光局との連携＞ ・大阪観光局HP内サイトを活用した情報発信(通年) ・大阪観光局のネットワークをいかした海外商談会、展示会等におけるセールス(10～12月) ＜関西圏を訪れる外国人観光客に向けたプロモーション＞ ・関西圏を訪れる外国人観光客に向けたプロモーション事業(委託)の実施 ・関西エアポートと連携した取組の実施(7月～)	【KPIの達成見込み】 R8.1～5月の実績でKPIの約60%を達成。この状況のまま推移すればKPIを達成見込み ◆実施後検討 ◇実施後検討	●大阪観光局と連携した情報発信及び商談会への参加を行う。 ○IR(統合型リゾート)に向け、国際MICEや大阪でのMICE終了後のエクスカーションの誘致に向け、大阪観光局から情報収集を行う。	観光振興スポーツ部	国際観光課